

部会名 (開催日)	構成員等
健康増進部会 (令和2年2月18日)	津下一代部会長 始め16名 学識経験者、県医師会、県歯科医師会、県薬剤師会、健康づくりリーダー連絡協議会、食生活改善推進員連絡協議会、健康保険組合連合会愛知連合会、全国健康保険協会愛知支部、県国民健康保険団体連合会、愛知労働局、県小中学校主任養護教諭会、県市町村保健師協議会、県保健所長会(順不同)
がん対策部会 (令和2年2月10日)	高橋隆部会長 始め18名 学識経験者、がん関係の各分野の専門医、県医師会、県歯科医師会、県市長会、県町村長会、がん体験者、県小中学校長会、県がん診療連携協議会代表、同協議会看護部会代表、県中小企業団体中央会、NPO法人ミーネット、県保健所長会(順不同)
歯科口腔保健対策部会 (令和2年2月17日)	嶋崎義浩部会長 始め13名 学識経験者、県医師会、県歯科医師会、県歯科衛生士会、県看護協会、県栄養士会、全国健康保険協会愛知支部、県医療療育総合センター中央病院、市町村歯科医師・歯科衛生士代表、小・中学校養護教諭代表、県保健所長会(順不同)

	健康増進部会
開催日	令和2年2月18日(火)
議題	<p>1 議題</p> <p>(1)「健康日本21あいち新計画」の進捗について</p> <p>(2)働く世代に向けて実施している事業について</p> <p>ア 地域・職域連携推進事業</p> <p>イ 健康経営推進企業支援事業</p> <p>ウ 食生活改善支援事業</p> <p>2 報告事項</p> <p>(1)改正健康増進法全面施行に向けての対応について</p> <p>(2)健康寿命の延伸等を図るための循環器病(脳卒中等)対策基本法について</p>
検討状況等	<p>1 議題</p> <p>(1)「健康日本21あいち新計画」の進捗について</p> <p>今年度の主な取組について事務局から報告し、協議を行った。</p> <p>(主な意見)</p> <p>○健康づくりリーダーや食生活改善推進員等のボランティアを有効に活用して、今後も健康的な地域づくりを推進していく必要があるが、ボランティアの高齢化や、ボランティア活動と仕事との両立等の課題がある。</p> <p>○県民等へCOPDの周知が図られるようインパクトのある周知ができるとよい。</p> <p>(2)働く世代に向けて実施している事業について</p> <p>「地域・職域連携推進事業」、「健康経営推進企業支援事業」、「食生活改善支援事業」の取組状況の現状や課題を報告し、協議を行った。</p> <p>(主な意見)</p> <p>○県民の健康状態等についてデータを用いて示すことで、関係者に健康づくりの取組の必要性や協力を求めやすくなるので、特定健診等データの収集や分析を続ける必要がある。</p> <p>○健診データだけでなく、医療費や疾患のデータも用いながら、健康課題等について効果的な発信ができるとよい。</p> <p>○食生活改善支援事業では、地域の健康課題を捉えて、食を中心に栄養士が取組を進めており、必要な活動が広がっていると感じる。</p>
今後の取組の方向性	<p>○医療・介護・健康データの継続的なモニタリングを行い、抽出した課題に応じた健康情報を関係者等に提供する等して、食生活、喫煙等、健康づくりに関する様々な観点について、幅広い関係機関・団体による取組促進を図る。</p> <p>○若い世代や、働く世代への取組として、地域・職域連携推進事業、健康経営推進企業支援事業、食生活改善支援事業等を推進し、健康づくりを社会全体で支えるための体制を強化していく。</p>

がん対策部会	
開催日	令和2年2月10日(月)
議題等	<p>1 議題 (1)「第3期愛知県がん対策推進計画」の推進に関する令和元年度の実施状況 (2)がん教育の実施について</p> <p>2 報告事項 (1)がん診療連携拠点病院等の指定について (2)第1回愛知県がん登録情報利用等審議会の開催及び審議状況</p>
検討状況等	<p>1 議題 (1)「第3期愛知県がん対策推進計画」の推進に関する令和元年度の実施状況 令和元年度の主な取組を報告し、今後の方向性について協議を行った。 (主な意見) ○講演会等について、単発的にやるのではなく Youtube に動画を上げるとか、 コマーシャルを作るとか、HP で何かするとか今の時代にあったやり方がある のではないかと。 ○がん患者が病院で開催されている講座の情報を収集しやすいよう、県の HP のコンテンツに拠点病院の講座の情報があるとよい。 ○がんサポートブックが手に入りやすくしてほしい。また患者が必要として いる情報を記載してほしい。</p> <p>(2)がん教育の実施について これまで実施してきたがん教育モデル講座と学校教諭等向けがん教育研修会 を実施しないこととし、代わりにがん診療連携拠点病院等の医師等からなる「が ん教育外部講師リスト」を作成し、教育委員会に提供していくという今後の方 向性について協議を行った。 (主な意見) ○拠点病院を活用して、広くがん教育を行う体制が整うのは良いこと。 ○学校が外部講師への謝金の予算を確保できるように配慮してほしい。 ○がん体験者も外部講師として参加できるようにしてほしい。</p>
今後の取組の方向性	<p>○市町村や企業、関係機関等と連携し、街頭啓発やがん検診啓発ポスターの 掲示等受診率向上キャンペーン等の普及啓発活動を引き続き実施していく。 ○HP の内容を充実し、がん検診対象者やがん患者に有益な情報を随時更新 し、知識の普及や受診勧奨を促進していく。 ○がん検診の精度管理を行うため、市町村がん検診の実施結果やプロセス指 標の改善のための取組状況等を専門家で構成するがん検診精度管理委員会 で分析・検討し、市町村に技術的指導を行う。</p>

歯科口腔保健対策部会	
開催日	令和2年2月17日(月)
議題	<p>1 議題 (1)「愛知県歯科口腔保健基本計画」の進捗状況及び主な取組について (2)関係機関・団体による歯科口腔保健の推進に向けた取組について</p> <p>2 報告事項 (1)「歯科医療、歯科保健にかかわる人のための子どもの虐待対応マニュアル」追補 版(最終案)及び普及版(案)について (2)「歯科衛生士の就業支援に関するアンケート調査」の結果概要について</p>
検討状況等	<p>議題(1)「愛知県歯科口腔保健基本計画」の進捗状況及び主な取組を報告し、課題解 決の方策、今後の方向性について協議を行った。 (主な意見) ○給食後の歯みがきは、学校現場では通年実施が難しい状況だが、小学生からの教育 がやはり重要であり、引き続き、歯みがき時間の確保について働きかけていきたい。 ○小中学校で歯間清掃用器具の使用方を指導し、使用率が上がると歯肉炎は減る。 ○成人期・高齢期は、多くの歯が残存する一方で歯周病に罹患する方が多く、指標の 改善が見込まれていないため、改善に向けて多くの関係者に協力いただきたい。</p> <p>議題(2)関係機関・団体による歯科口腔保健の推進に向けた取組を共有した。 (主な意見) ○すべてのライフステージの歯科口腔保健事業を充実させることを目標にしている が、とりわけ昨今は、フレイルと口腔機能低下の関連性の周知を進めていく。 ○糖尿病対策は歯周病治療を含めて進めていく。 ○入院し口腔衛生が自身でできなくなった段階で一気に歯周病が進む。フレイルサイ クルでは低栄養が入り口で口腔衛生の環境や嚥下機能も関わるため、介入が重要。 ○歯科検診結果とレセプトを関連付けて分析し、医療保険加入者の健康維持につな がる取組を、分析結果を踏まえてさらに進めていきたい。 ○障害者歯科認定協力医制度の見直し、障害者の高齢化対策のほか、歯科受診が難 しい在宅小児障害児(医療的ケア児)の口腔衛生管理についての検討、取組が必要。</p>
今後の取組の方向性	<p>○関係機関・団体と情報共有し、それぞれの役割を發揮し具体的な取組をしていく。 ○成人期の歯周病対策の強化として、働く世代の歯と口の健康管理支援事業の中で、 地域・職域の課題共有を図りながら事業評価を行い、より効果的な展開を模索する。 ○高齢期の口腔機能に着目したフレイル対策の推進を図るため、保健所の地域歯科保 健課題対応事業を活用し、保健事業と介護予防の一体的実施を促進していく。 ○ワーキンググループを設置し、「災害時歯科保健活動ガイドライン(仮称)」の作成 と併せて、関係機関・団体との役割分担、連携体制の検討を行う。</p>

